

令和6年度 第1回上越市スポーツ推進審議会 次第

日 時 令和6年6月4日（火）午前10時～

場 所 ワークパル上越 視聴覚室

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶 上越市教育委員会教育長 早川 義裕

4 議 題

(1) 第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

- ① スポーツ活動の普及推進【資料1-1】
- ② 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業【資料1-1】
- ③ スポーツ競技力の向上【資料1-1】
- ④ スポーツ環境の充実【資料1-2】
- ⑤ 体育施設の整備事業【資料1-2】

(2) 第3次総合教育プランに基づく令和6年度のスポーツ関係施策の実施予定

- ① スポーツ活動の普及推進【資料2-1】
- ② 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業【資料2-1】
- ③ スポーツ競技力の向上【資料2-1】
- ④ スポーツ環境の充実【資料2-2】
- ⑤ 体育施設の整備事業【資料2-2】

(3) 令和6年度スポーツ推進審議会日程【資料3】

5 その他

地域クラブ活動推進の概要（地域クラブ活動推進室）【資料4】

6 閉 会

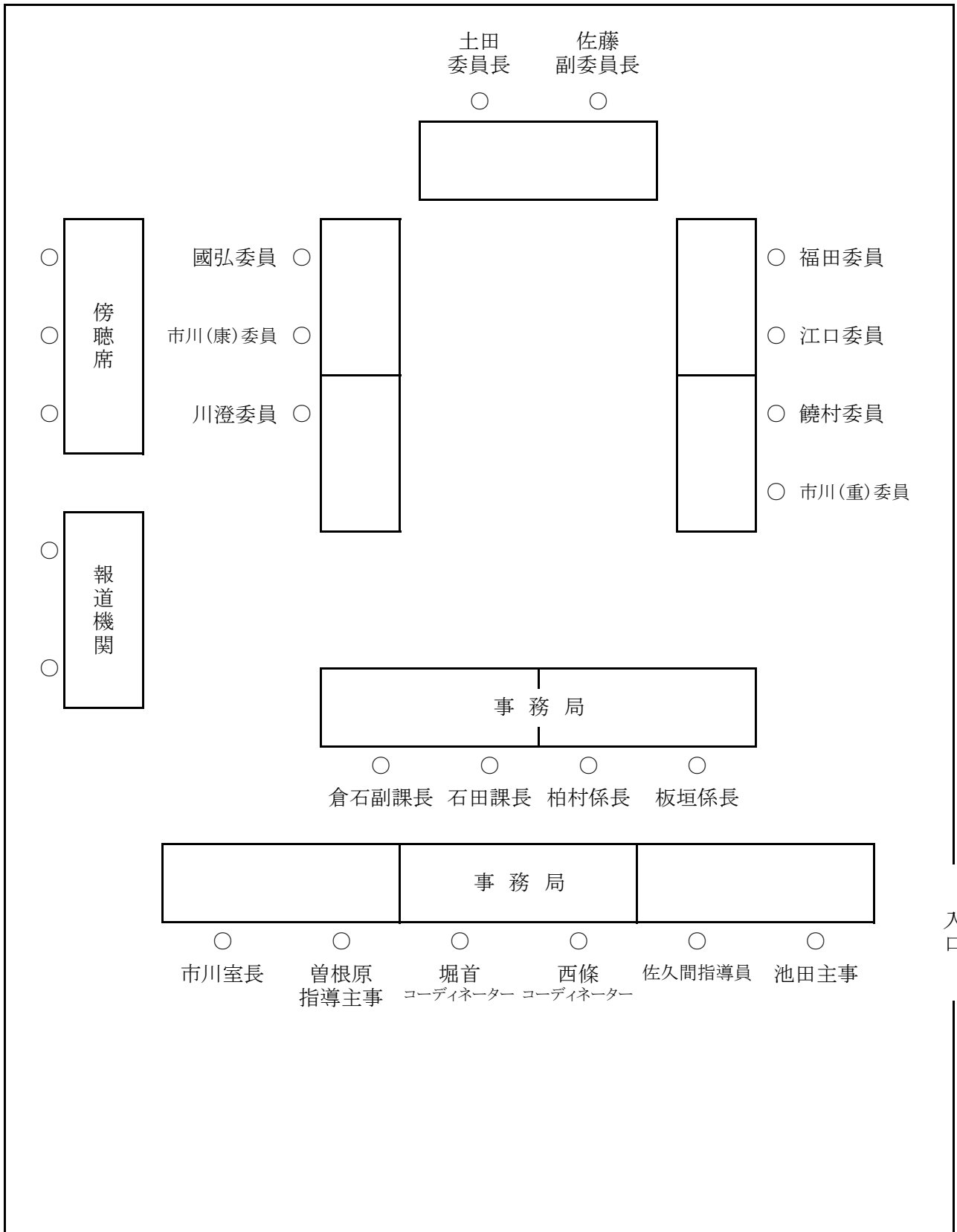
令和6年度第1回上越市スポーツ推進審議会 出欠名簿

(敬称略)

No	役 職	氏 名	備	考
			選 出 母 体	出 欠
1	委員長	土 田 了 輔	国立大学法人上越教育大学	○
2	副委員長	佐 藤 正 明	一般財団法人上越市スポーツ協会	○
3	委員	橋 本 敏 郎	新潟県高等学校体育連盟	×
4	委員	福 田 功	新潟県特別支援学校長会	○
5	委員	江 口 利 彦	上越市中学校長会	○
6	委員	饒 村 泰 世	上越市小学校長会	○
7	委員	熊 木 博 幸	上越バレーボール協会	×
8	委員	市 川 重 雄	上越市バスケットボール協会	○
9	委員	春 日 清 美	上越市レクリエーション協会	×
10	委員	國 弘 泰 昌	上越市スポーツ少年団	○
11	委員	市 川 康 男	上越SCネット	○
12	委員	川 澄 陽 子	上越市身体障害者連絡協議会	○
13	委員	関 川 信 之	上越市スポーツ推進委員会会議	×
14	委員	飯 塚 正 男	正和株式会社	×
15	担当課長	石 田 博 幸	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
16	担当副課長	倉 石 義 宏	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
17	施設係長	板 垣 誠	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
18	企画推進係長	柏 村 智 之	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
19	主事	池 田 将 大	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
20	生涯スポーツ指導員	佐 久 間 俊 明	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
21	地域クラブ活動 コーディネーター	堀 首 有 菜	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
22	地域クラブ活動 コーディネーター	西 條 玲	上越市教育委員会スポーツ推進課	○
23	室長	市 川 均	上越市教育委員会教育総務課 地域クラブ活動推進室	○
24	指導主事	曾 根 原 至	上越市教育委員会学校教育課	○

令和6年度 第1回スポーツ推進審議会 座席表

ワークパル上越 視聴覚室



第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

資料 1-1

プラン4 スポーツの振興

取組4-1 スポーツ活動の充実

□ 目標

健康づくりや体力づくり、生きがいづくりや競技力の向上などの多様なスポーツ活動を通じて、人と地域が結び付き、活力のある地域社会を実現する。

1 スポーツ活動の普及推進

□ 成果指標

評価内容	令和5年度目標値	達成状況	
1回30分以上の軽く汗をかく運動を、週2回1年以上実施している人の割合 <令和4年度：35.7%> ※実施率=KDB（特定健康診断結果）健康づくり推進課より提供	36.7%	35.0% (暫定値)	×

□ 評価

- ・特定健康診断結果による運動習慣の実施率について、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した5月から12月までは36.9%と目標を上回っていたが、冬期間の運動実施率の低下により、令和5年度末実績では35.0%（暫定値）と目標を下回った。
- ・冬期間を含めた通年の運動の習慣化に向けて、市のスポーツ推進委員や上越市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブが主体となって、健康の保持・増進を目的とした運動教室等を定期的に開催しているものの、気温が下がり運動に適さない冬場に関しては、参加状況が低い傾向にある。
- ・今後、コロナ禍により中止や参加制限をしていた様々な教室等が通常どおり開催される見通しにあることから、教室の内容や開催時期、会場などを工夫しながら、健康を意識した運動の習慣化が図られるよう、引き続き、関係団体と連携して取り組んでいく。

□ 目標を達成するための主な事業等

(1) スポーツ推進委員によるスポーツの指導・啓発

日常的にスポーツができる環境づくりを目指し、各種教室やスポーツイベントに指導者としてスポーツ推進委員を派遣した。

実施内容	令和5年度実績		参考	
	実施回数	参加人数	令和4年度	令和元年度
出前講座 ○スポーツ推進委員による市民対象の講座 ・ニュースポーツ教室など ・地域での健康体操 ・市民向け体力測定会	119回	4,292人	4,406人 (139回)	6,030人 (120回)
健康運動教室 ○成人を対象としたストレッチやレジスタンストレーニングの健康運動プログラム教室（1教室20人募集）	16回	249人	206人 (16回)	実施なし
親子運動教室 ○2歳から5歳児を対象とした親子の運動教室（1教室10組20人募集）	3回	58人	46人 (3回)	133人 ※2講座 2回

(2) 各種スポーツ大会・イベントの開催状況

内容	令和5年度実績		参考	
	実施日	参加者数	令和4年度	令和元年度
米山山麓ロードレース大会	4月16日	550人	中止	876人
スカイスポーツ大会	5月27日～28日 8月30日～9月1日	201人	中止	151人
高田城ロードレース大会	6月4日	1,865人	1,748人	2,507人
やすづかスポーツ大会	6月10日～11日	174人	122人	400人
うらスポマラソン大会	6月18日	230人	183人	485人
吉川区体育祭	7月2日	中止	中止	1,000人
不動山登山	7月16日	中止	23人	55人
ビーチバレーボール4人制 inJOETSU大会	7月30日	222人	262人	206人
中郷区体育祭	8月27日	300人	300人	1,200人
市民スポーツ祭	9月～11月	2,200人	1,800人	3,050人
さんわ体育祭	9月24日	800人	中止	1,200人
くびき総合スポーツフェスタ	9月30日～10月8日	955人	815人	1,631人
松ヶ峰トリムマラソン大会	10月9日	121人	123人	476人
歩こまいか名立	10月9日	中止	14人	22人
まつりっち in きたすわ（有田地区 体育・レクリエーション事業）	10月14日	450人	中止	250人
新潟県駅伝競走大会	10月15日	45人	40人	38人
牧区体育祭	10月15日	160人	中止	500人
大潟区体育祭	10月15日	中止	中止	中止
さんわ駅伝大会	10月15日	130人	中止	96人
名立区駅伝競走大会	11月3日	177人	126人	264人
清里区秋季スポーツ交流会	11月4日	200人	200人	中止
中郷歩くスキーとクロスカントリー スキー大会	2月18日	中止	26人	中止
清里区冬季スポーツ交流会	3月3日	300人	200人	350人
レルヒカップスキー&スノーボード大会	3月9日	154人	200人	中止

※令和5年度の中止は雨天等によるもの。

第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

(3) 上越一健康運動プログラム（J-WELLNESS）

上越教育大学、健康づくり推進課、スポーツ推進課が連携して、生活習慣の改善と健康増進を推進するため、有酸素運動及び体幹トレーニングの個別プログラムを提供した。

No.	令和5年度実績				参 考	
	会 場	日 程	回数	参加者数	令和4年度	令和元年度
1	高田スポーツセンター	5月10日～6月28日	全8回	66人	268人	36人
2	総合体育館	8月23日～10月11日	全8回	127人	※2講座	※1講座
3	ジムリーナ	10月25日～12月13日	全8回	94人	36回	4回

(4) いきいきスポーツ教室委託事業

スポーツクラブのない大島区及び牧区において、上越SCネットがノルディックウォーキング等のスポーツ教室を開催し、スポーツを楽しむ機会を提供した。

No.	令和5年度実績				参 考
	会 場	日 程	回数	参加者数	令和4年度
1	大島多目的ホールふれあい館他	5月19日～10月27日	全15回	203人	164人
2	牧体育館他	5月30日～10月31日	全12回	242人	120人

(5) 東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン事業

・あすチャレ！スクール（主催：公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター）

パラアスリートを講師に招き、競技のデモンストレーションやパラスポーツ体験等の出前授業を小中学校5校で実施した。

No.	実施校（学年）	日 程	参加者数	講 師
1	保倉小学校（5、6年生）	6月20日	33人	車いす陸上競技選手 永尾 嘉章
2	富岡小学校（5、6年生）	6月20日	32人	
3	里公小学校（6年生）	6月21日	19人	
4	名立中学校（1～3年生）	6月22日	51人	
5	吉川中学校（1～3年生）	6月22日	70人	



保倉小学校



名立中学校

・あすチャレ！ジュニアアカデミー（主催：公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター）
パラアスリートを講師に招き、「障害」について考える出前授業を小学校2校で実施した。

No.	実施校（学年）	日 程	参加者数	講 師
1	高田西小学校（4年生）	2月6日	53人	元陸上競技選手 永尾 由美
2	富岡小学校（5年生）	2月26日	16人	アイスホッケー・ パワーリフティング選手 馬島 誠

・オリンピック・パラリンピアン交流事業

東京2020パラリンピック強化委員長兼日本代表女子監督ほか2名を招き、ジュニア選手への競技指導や、スポーツに対する考え方を学ぶ講演会を実施した。

開 催 日	令和6年2月25日
会 場	謙信公武道館
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・パラ柔道との出会い（廣瀬講師が、目に障害を負って柔道に救われたことなど体験談からあきらめないことの大切さを指導） ・パラ柔道とはどのような競技か（パラ柔道のルールや柔道の基本は受け身「負けから始まる」スポーツであること等） ・視覚障害体験（アイマスクをして目の不自由な人との意思の疎通を図ることの難しさや動きが制限されること等を体験） ・パラ柔道メダリストとの模範試合
講 師	日本視覚障害者柔道連盟専務理事 東京2020パラリンピック強化委員長兼日本代表女子監督 佐藤 雅也 講師 日本視覚障害者柔道連盟育成コーチ 上瀧 亨 講師 リオデジャネイロパラリンピック60kg級 銀メダリスト 廣瀬 誠 講師
参加者数	130人



「パラ柔道との出会い」
講師 廣瀬 誠



全体集合写真

第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

・ドイツへのジュニア選手派遣事業

東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるドイツ柔道・体操選手団のホストタウンを契機として、市内の競技団体との交流の継続を目的に、柔道と体操競技に取り組んでいるジュニア選手をドイツへ派遣した。

競技名	日程	派遣先	派遣人数
柔道	8月20日～8月26日	柔道クラブ Bremen1860、 ニーダーザクセン州ほか	5人 (選手4人、指導者1人)
体操	3月1日～3月11日	ハレナショナルトレーニング センター、マンスフェルトス ポーツクラブほか	6人 (選手4人、指導者2人)



[柔道] Bremen 1860 での練習



[柔道] ニーダーザクセン州
オリンピックセンターでの練習



[体操] マンスフェルト
スポーツクラブでの交流練習



[体操] ハレナショナルトレーニングセン
ターでの体操練習(東京2020オリンピック
事前合宿にて当市に来越したドイツ体操チ
ームとの交流)

2 総合型地域スポーツクラブの育成・支援事業

□ 成果指標

評価内容	令和5年度 目標値	達成状況	
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会 に所属する会員の人口に対する割合。 <令和4年度：11.0%>	12.0%	11.1%	×

□ 評価

- ・令和5年度末における市内の総合型地域スポーツクラブ及び市スポーツ協会に所属する会員数は、20,060人で前年度に比べて354人減少し、人口に対する割合は11.1%となり、目標を達成することができなかった。(令和4年度末会員数：20,414人)
- ・会員数は、令和4年度に比べて1.7%減少しており、市内の人口減少率(▲1.3%)と概ね同程度となっていることから、人口減少や少子高齢化などの社会的な影響が起因していると考えている。
- ・今後は特に、中山間地域の人口減少が顕著となり、スポーツに触れる機会が減っていくことが予測されることから、総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会が主体となって、まちづくり団体等と連携し、地域のニーズに即したスポーツ教室やイベントを継続的に展開していく必要がある。

□ 目標を達成するための主な事業等

- (1) 総合型地域スポーツクラブ運営補助金(補助事業2,055千円) … 交付率100%
上越SCネットの運営費を補助し、総合型地域スポーツクラブの安定的な活動を支援した。
- (2) 総合型地域スポーツクラブ研修会
総合型地域スポーツクラブの指導者や地域の生涯スポーツ関係者を対象に、指導者の資質の向上を図るための研修会を実施した。

開催日	令和5年12月17日
会場	清里コミュニティプラザ 多目的ホール
内容	子どもを取り巻く現状のスポーツ環境を踏まえ、運動遊びや伝承遊びを活用しながら、そのアレンジの仕方などを紹介し、子供達が夢中になる運動遊びを実践形式で行う。(講義と実技指導)
講師	アクティブチャイルドプログラム(JSPO-ACP) 青柳 彩 講師
参加者数	27人

第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

3 スポーツ競技力の向上

□ 成果指標

評価内容	令和5年度 目標値	達成状況	
中高生の北信越大会と小・中・高生の全国大会出場者数 <R4年度：667人>	560人	797人	○

□ 評価

- ・小、中、高一貫指導体制による競技力の向上を目指した「ジュニアトップアスリート育成事業」や指導者の資質向上を目指した研修会など、これまでの継続的な取組により、3月末の中高生の北信越大会及び小・中・高生の全国大会出場者数は797人で目標を達成することができた。
- ・また、中学校の部活動の地域移行に向けて、引き続き、市内の競技団体やスポーツクラブ等を紹介する「地域クラブフェア」を開催するとともに、指導者の確保・育成に取り組んでいく。

□ 目標を達成するための主な事業等

(1) ジュニアトップアスリートの育成

ジュニア期から少年期まで一貫した指導体制を整備し、競技人口の増加を図るとともに、選手の育成・強化を支援する。

- ・ジュニアトップアスリート育成強化事業（補助事業1,615千円） … 交付率100%

体 操 競 技	全国高等学校総合体育大会体操競技大会	4人出場	3人41位
	全日本ジュニア体操競技選手権大会	1人出場	1人15位
	全国中学校体操競技選手権大会	2人出場	1人40位
	北信越高等学校体操競技選手権大会	7人出場	4人3位
	北信越国民体育大会	3人出場	3人3位
	北信越中学校総合競技大会	5人出場	3人2位
	北信越ジュニア体操選手権大会	5人出場	3人2位
	山 岳	ユースリード日本選手権	2人出場
ボルダージュース日本選手権		2人出場	1人26位
国民体育大会北信越ブロック大会		3人出場	1人2位
鹿児島国体		2人出場	1人18位
全国高校選抜スポーツクライミング大会		1人出場	1人66位
野 球	都市対抗前座試合	1人出場	
	倉敷選抜大会東日本ブロック代表決定戦	6人出場	3位
	日刊スポーツ杯オールスター大会	4人出場	準優勝
	日本少年野球関東大会	22人出場	準優勝
ス キ ー	全国中学校スキー大会	3人出場	2人2位
	JOCジュニアオリンピックカップ2024全日本ジュニアスキー選手権大会	6人出場	3人2位

- ・地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業（県補助事業1,422千円） … 交付率100%

空 手 道	全国中学生空手道選手権大会	7人出場	
	全国小学生・中学生空手道選手権大会	80人出場	9人優勝
	全日本少年少女空手道選手権大会	10人出場	
	全日本少年少女空手道選抜大会	5人出場	

	全国中学生空手道選抜大会	6人出場
	北信越高等学校空手道選手権大会	9人出場 1人4位
	北信越小中学生空手道選手権大会	5人出場 2人準優勝
	北信越地区空手道選手権大会	17人出場 4人優勝
バレーボール	第26回全国ヤングクラブ優勝大会	20人出場

(2) 日本体育大学との連携事業

日本体育大学から専門指導者を招き、市内のジュニアアスリート及び指導者を対象に、技術面や指導面に関する研修会を開催した。

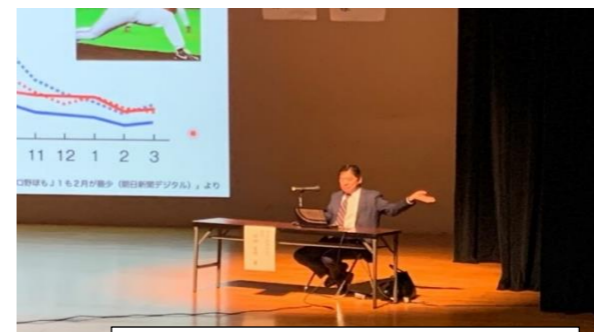
① バレーボールジュニアアスリートスキルアップ練習会&指導者クリニック

区分	内容
開催日	6月10日、6月11日
会 場	リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
内 容	ジュニアアスリートの練習会及び指導者クリニック
講 師	日本体育大学アスレティックデパートメント男子バレーボール部 山本 健之 監督 日本体育大学学友会男子バレーボール部 部員26人
参加者数	上越バレーボール協会指導者・上越市ジュニアトップアスリート育成強化指定選手 上越地区高校男子バレーボール部・上越市中学校男子バレーボール部 計124人



② ジュニアトップアスリートスキルアップ講習会

区分	内容
開催日	11月4日(2回)
会 場	リージョンプラザ上越2階 コンサートホール
内 容	1部：ジュニアトップアスリートのスキルアップのためのトレーニング 2部：ジュニアトップアスリートを育むための食事づくり
講 師	1部：日本体育大学体育学部体育学科 杉田 正明 教授 2部：日本体育大学体育学部体育学科 安達 瑞保 助教
参加者数	指導者・競技者の保護者・中学生以上の競技者 計85人



日本体育大学体育学部体育学科
杉田 正明 教授



日本体育大学体育学部体育学科
安達 瑞保 助教

第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

(3) スポーツ活動サポート事業

小中学校で行われる課外活動及び部活動の競技力の向上を図るため、専門的な知識と技術を有する外部指導者を派遣した。

区分	派遣依頼種目	実施状況
小学校	水泳、陸上、クロスカントリースキー（3種目）	4校27回
中学校	サッカー、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、剣道、ソフトボール、卓球、軟式野球、クロスカントリースキー、陸上（10種目）	17校771回

(4) スポーツ指導者が地域で活動できる環境整備

・コーチング研修会

児童生徒の発達特性やハラスメントなど、保護者が安心して指導を任せられる指導者の確保・育成を図るため、指導者向けの研修会を開催した。

区分	第1回	第2回
開催日	5月28日	12月10日
会場	高田城址公園オーレンプラザ ホール	春日謙信交流館 会議室
内容	ハラスメントに配慮した指導方法と13歳～15歳（中学生）との関係構築	トレーニング論（体力のトレーニング、心のトレーニング）、スポーツと栄養
講師	上越教育大学 土田 了輔 教授	上越教育大学 松浦 亮太 准教授 池川 茂樹 准教授
受講者数	28団体92人	33団体65人

・地域クラブフェア

市内のスポーツ団体やスポーツクラブ等が一堂に会して活動紹介や実技体験を展開し、小・中学生とのつながる機会を提供した。

区分	第1回	第2回
開催日	4月22日	11月11日
会場	リージョンプラザ上越 インドアスタジアム	リージョンプラザ上越 インドアスタジアム、アイスアリーナ
参加団体	37団体（スポーツ団体33、文化団体4）	36団体 スポーツ団体29、文化団体3、その他団体4
来場者数	1,536人 内訳：大人630人 子ども906人（中学生500人）	2,138人 内訳：大人1,193人、小・中学生823人、 幼児・高校生122人



インドアスタジアムの様子



スケート体験の様子

第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

資料 1-2

プラン4 スポーツの振興

取組4-2 スポーツ環境の充実

□ 目標

スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境を整備する。

1 体育施設整備事業

□ 成果指標

No.	評価内容 (1施設当たりの年間延べ利用者数)	令和5年度 目標 (H30~R4 平均値)	令和5年度 実績	達成状況
1	体育館	20,253人	18,858人	×
2	野球場	6,192人	6,442人	○
3	多目的広場	5,319人	4,995人	×
4	テニスコート	5,363人	7,917人	○

□ 評価

- ・1施設あたりの利用人数は、令和5年度末で体育館18,858人（目標比93%）、野球場6,442人（目標比104%）、多目的広場4,995人（目標比94%）、テニスコート7,917人（目標比148%）であり、体育館・多目的広場は目標を下回ったが、野球場・テニスコートは目標を達成することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、徐々にコロナ禍前の利用者数に戻りつつある中、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、体育館では、上越市総合体育館や清里スポーツセンターなどの複数施設で被害を受け、施設を休館したことが影響した。
- ・また、多目的広場では、主な利用者であるサッカー競技が前年度と比べて5チーム減少していることが要因と考えている。
- ・市民が安全で快適に利用できるスポーツ施設の環境整備に向けて、引き続き、適正な維持管理を実施するとともに、利用実態やニーズの変化などの情報収集に努め、スポーツ施設の適正配置に取り組んでいく。

（能登半島地震による主な影響）

- ・総合体育館は、アリーナ天井の換気ダクト振り止め金具の脱落により、67日間利用休止
- ・清里スポーツセンターは、アリーナ天井スピーカーの部品脱落により、35日間利用休止
- ・浦川原体育館は、アリーナ天井金具の脱落により、30日間利用休止
- ・三和体育館は、アリーナ天井の断熱ボードの脱落により、7日間利用休止

□ 目標を達成するための事業等

- 体育施設の整備・修繕費、備品購入費
- ・主な施設整備

工事名	実施内容	実施状況
上越総合運動公園テニスコート人工芝張替え工事	A5~8コート、B5~8コートの人工芝張替え	令和5年12月完了
高田城址公園野球場照明不点改修工事	ナイター照明の配線、照明器具の取替	令和5年12月完了
柿崎総合体育館ガスヒートポンプエアコン更新工事	室外機及び室内機の更新	令和6年1月完了
安塚B&G海洋センタープール上屋膜体取替工事	膜体及び取付金具の取替	令和5年10月完了
三和体育館バスケットゴール更新工事	バスケットゴールの取替	令和5年8月完了
高田城址公園庭球場（第三）擁壁クラック改修及び塗装工事	擁壁のクラック補修・塗装	令和5年10月完了
藤野野球場内野改修工事	土の補充、ホームベース等の取替	令和5年9月完了
高田城址公園弓道場射場照明修繕工事	照明器具のLED化	令和5年11月完了
柿崎総合運動公園野球場外野フェンスカバー設置工事	フェンス笠木に黄色カバーを設置	令和5年10月完了
安塚B&G海洋センタープール照明LED化工事	照明器具のLED化	令和5年7月完了
清里スポーツ公園グラウンドBコートバックネット改修工事	バックネットのかさ上げ	令和5年8月完了

・主な備品整備

品名	施設名	実施状況
ランニングタイム表示機・操作盤	高田城址公園陸上競技場	令和5年9月完了
バレーボール用具（支柱、支柱カバー、アンテナ等）	高田スポーツセンター、大島多目的ホール、清里スポーツセンター、三和体育館	令和5年10月完了
木製レイキ、コートブラシ、ラインカー	総合運動公園テニスコート、スポーツ公園多目的広場ほか	令和5年8月完了
AED：7台	びょうぶ谷野球場、直江津海岸ビーチバレーコート、柿崎第1庭球コート、大潟運動広場ほか	令和5年7月完了
音響設備	三和体育館	令和5年7月完了
トラクター用バイプロレイキ、集塵機	高田城址公園野球場	令和5年9月完了
乗用草刈り機用集草アタッチメント	大潟運動広場	令和5年6月完了

プラン4 スポーツの振興

取組4-1 スポーツ活動の充実

□ 目標

健康づくりや体力づくり、生きがいづくりや競技力の向上などの多様なスポーツ活動を通じて、人と地域が結び付き、活力のある地域社会を実現する。

1 スポーツ活動の普及推進

(1) 目指す姿

- ・多くの市民が、市内各所で、健康増進に向けた多様なスポーツに取り組める環境を目指す。

(2) 取組方針

- ・スポーツへの関心の高まりを具体的な行動や実践へとつなげるため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会等の各種スポーツ団体への支援、スポーツ推進委員の参画により、健康の保持・増進を目的としたスポーツ教室やイベントなどの幅広いスポーツ活動を実施する。

□ 成果指標

評価内容	令和6年度目標	令和5年度実績
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回1年以上実施している人の割合 ※実施率=健康づくり推進課、検診参加者の調査結果	36.7%	35.0% (暫定値)

□ 目標を達成するための主な取組

(1) 取組内容

- ① スポーツ推進委員によるスポーツの指導・啓発 (延べ585人派遣 3,246千円)
 - ・日常的にスポーツができる環境づくりを目指し、各種教室やスポーツイベントに指導者としてスポーツ推進委員を派遣する。
- ② スポーツ大会・教室、各種団体等の支援 (補助金・交付金) (30,284千円)
 - ・上越市スポーツ協会運営費補助金 (11,188千円)
 - ・各種スポーツ大会補助金 (9,509千円)
 - ・地域独自の予算事業補助金 (5,684千円)
 - ・スポーツアスリート育成強化事業補助金 (2,100千円)
 - ・スポーツ施設借上料等補助金 (923千円)
 - ・スポーツ指導者養成事業補助金 (880千円)
- ③ 上越一健康運動プログラム (J-WELLNESS) (108千円)
 - ・上越教育大学、健康づくり推進課、スポーツ推進課が連携して、生活習慣の改善と健康増進を推進するため、有酸素運動及び体幹トレーニングの個別プログラムを提供する。

No.	会場	日程	回数	延べ参加者見込
1	無料体験会	4月21日～12月1日	8	240人
2	高田スポーツセンター	4月10日～12月11日	16	480人
3	総合体育館	6月12日～3月12日	24	720人

- ④ いきいきスポーツ教室委託事業 (644千円)
 - ・スポーツクラブのない大島区 (6回×3教室)、牧区 (6回×2教室) において、上越SCネットがスポーツ教室を開催し、スポーツを楽しむ機会を提供する。
- ⑤ 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業 (3,399千円)
 - ・ドイツとの交流やパラスポーツ体験を通じスポーツ振興を図ると共に、国際交流への関心や共生社会への理解を深める。

実施事業名	事業内容
あすチャレ！スクール	パラアスリートによるデモンストレーションやパラスポーツを体験する出前授業 (浦川原小学校、中郷小学校、高志小学校、明治小学校、直江津南小学校)
あすチャレ！ジュニアアカデミー	パラアスリート講師による講話や障がいの疑似体験を通じて「障がい」について考える出前授業 (里公小学校、保倉小学校、名立中学校、高田西小学校、黒田小学校)
オリンピック交流	オリンピックを招致し、技術指導等を実施することでスポーツに対する考え方を学ぶ交流会
ドイツジュニア選手受入支援	東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるドイツ柔道・体操選手団のホストタウンを契機として、ドイツジュニア選手を受け入れ、市内の競技団体との交流を支援

2 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業

(1) 目指す姿

- ・総合型地域スポーツクラブは、会員数の減少により体制を維持していくことが困難になりつつあるが、中学校部活動の地域移行後の受け皿となることを見込まれるほか、市民に多様なスポーツを提供していることから、個々の総合型地域スポーツクラブがまとまる等、自発的な組織の再編を支援することにより、地域におけるスポーツ活動が推進されることを目指す。

(2) 取組方針

- ・総合型地域スポーツクラブの自発的な組織の再編と健全な運営を支援し、身近な地域で市民が多様なスポーツに取り組む機会を提供する。

□ 成果指標

評価内容	令和6年度目標	令和5年度実績
市内の総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会に所属する会員の人口に対する割合	12.0%	11.1%

□ 目標を達成するための主な取組

(1) 取組内容

- ① 総合型地域スポーツクラブ運営補助金 (2,574千円)
 - ・市内12クラブとの連絡調整を行い、中学生対象の地域クラブ活動の支援のほか、様々な地域スポーツ活動の機会を提供し、市民のスポーツの習慣化による健康の保持増進を図るため、上越SCネットの安定した運営を支援する。

第3次総合教育プランに基づく令和6年度のスポーツ関係施策の実施予定

- ② 総合型地域スポーツクラブ研修会(34千円)
 ・総合型地域スポーツクラブの指導者や地域の生涯スポーツ関係者を対象に、指導者の資質の向上を図るための研修会を実施する。

3 スポーツ競技力の向上

- (1) 目指す姿
 ・多くの指導者が育成され、ジュニア期からトップレベルまでの指導が充実することで競技力の向上を目指す。
- (2) 取組方針
 ・指導者の育成や確保のため、協定を結ぶ体育大学や実業団チーム等と連携した最先端の指導方法が学べる講習会を開催するとともに、部活動指導者が地域で活動できる環境整備に向けた市内スポーツ団体の体制づくりを支援する。

□ 成果指標

評価内容	令和6年度目標	令和5年度実績
中高生の北信越大会と小・中・高生の全国大会出場者数	668人	797人

□ 目標を達成するための主な取組

- (1) 取組内容
- ① ジュニアアスリートの育成
 ジュニア期から少年期まで一貫した指導体制を整備し、競技人口の増加を図るとともに、選手の育成・強化を支援
- ・上越市スポーツ少年団補助金(218千円)
 - ・ジュニアトップアスリート育成強化事業(1,615千円)
 硬式野球、XCスキー、柔道
 - ・地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業(1,422千円) ※県補助事業
 空手道、バレーボール、スポーツライミング
 - ・上越市スポーツ協会ジュニアスポーツクラブ補助金(1,527千円)
- ② 日本体育大学との連携事業(298千円)
 日本体育大学から専門指導者を招き、市内のジュニアアスリート及び指導者を対象に、技術面や指導面に関する研修会を開催する。

区分	内容
開催日	7月6日・7日
会場	リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
内容	ジュニアアスリートの練習会及び指導者クリニック
講師	日本体育大学女子バレーボール部 根岸監督・部員
参加者数	上越バレーボール協会指導者 上越市ジュニアトップアスリート育成強化指定選手 上越地区高校女子バレーボール部 上越市中学校女子バレーボール部 計200人(予定)

- ③ スポーツ活動サポート事業(3,315千円)
 小中学校で行われる課外活動及び部活動の競技力の向上を図るため、専門的な知識と技術を有する外部指導者を派遣する。

区分	派遣依頼種目	実施予定
小学校	水泳、陸上、クロスカントリースキー(3種目)	4校32回
中学校	サッカー、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、剣道、卓球、軟式野球、クロスカントリースキー、陸上、水泳、柔道(11種目)	14校1,073回

- ④ スポーツ指導者が地域で活動できる環境整備
 ・コーチング研修会の開催(104千円)
 児童生徒の発達特性やハラスメントなど、保護者が安心して指導を任せられる指導者の確保・育成を図るため、指導者向けの研修会を開催する。

開催日	4月13日
会場	ユートピアくびき希望館
内容 講師	TM共同法律事務所 渡部弁護士 「これからの指導者及びスポーツ団体の在り方」 上越教育大学 池川准教授 「鍛錬で”緊張”は乗り越えられるのか？」 上越教育大学 長谷川講師 「怪我を予防するためのストレッチ」 ※日本スポーツ協会公認資格「コーチⅠ」の内容を参考に実施
受講者数	32団体 13種目 89人

- ・地域クラブフェア(5,197千円)
 市内のスポーツ団体やスポーツクラブ等が一堂に会して活動紹介や実技体験を展開し、小・中学生とのつながる機会を提供する。

区分	第1回	第2回(予定)
開催日	5月11日	12月21日
会場	リージョンプラザ上越	リージョンプラザ上越
参加団体	48団体(スポーツ団体26、文化団体22)	未定
来場者数	1,560人 内訳:大人779人 子ども781人	未定

プラン4 スポーツの振興

取組4-2 スポーツ環境の充実

□ 目標

スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境を整備する。

1 体育施設整備事業

(1) 目指す姿

- ・スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境整備を目指す。

(2) 取組方針

- ・安全で快適なスポーツ環境を維持していくため、ユニバーサルデザイン指針等に基づき、施設や設備、用具の機能維持に努める。
- ・利用実態やニーズの変化などを踏まえ、施設の統廃合や機能の拡充、新たな施設・機能の整備など計画的に進めスポーツ関連施設の適正配置に取り組む。

(3) 取組内容

① 体育施設の整備・修繕費（389,139千円）、備品購入費（11,731千円）

- ・主な施設整備事業

工事名	実施内容	金額 (千円)
大湊体育センター大規模改修工事	屋根改修、外壁改修、外部 建具改修、照明LED化等	184,613
柿崎運動公園野球場照明修繕工事	ナイター照明のLED化	79,750
大島多目的ホール体育館他照明器具LED化工事	照明器具のLED化	22,418
吉川体育館照明器具LED化工事	照明器具のLED化	17,138
清里スポーツセンターアリーナ照明LED化工事	照明器具のLED化	15,400
スポーツ公園野球場バックネット更新工事	バックネットの更新	12,100
柿崎総合体育館ガスヒートポンプエアコン更新工事	室外機、室内機の更新	7,920
高田スポーツセンター照明設備更新工事	照明器具のLED化	7,766
くびき球場ライト側ナイター不点修繕工事	ライト側ナイター照明の LED化	7,150
三和スポーツセンター体育室LED化工事	照明器具のLED化	3,960
牧プールトイレ洋式化等修繕工事	大便器の洋式化、手洗器の 自動水栓化	3,685
中郷総合運動公園屋外運動場フェンス改修工事	ネットフェンスの取替	3,063

・主な備品整備事業

品名	施設名	金額 (千円)
スリットビデオシステム・スターティングブロック・ハードルバー更新	高田城址公園陸上競技場	8,465
軟式テニス用ネット更新	総合運動公園テニスコート	203
硬式テニス用ネット更新	総合運動公園・スポーツ公園テニスコート、	690
AED購入	スポーツ公園、高田スポーツセンター、頸城B &G 海洋センター、柿崎総合体育館	1,078
バキュームクリーナー	教育プラザ体育館	70
バレーボール用具 (支柱、支柱カバー、アンテナ等)	大湊体育センター	332
鉄棒・平行棒・段違い平行棒投げ込み マット	上越体操場、大湊体操アリーナ	373

② 建築物等定期点検、消防設備点検（5,974千円）

建築設備点検（23施設）、防火設備点検（11施設）、消防設備点検（11施設）

③ 体育施設の適正配置の方向性（前期計画：R3～7年度）

施設名	施設区分	計画（予定）
三和西部スポーツハウス	体育館	令和7年3月31日廃止

(4) 成果指標

No.	評価内容 (1施設当たりの年間延べ利用者数)	令和6年度目標 (直近過去5年間の平均値)	令和5年度実績
1	体育館	17,264人(23,042人)	18,858人
2	野球場	5,670人(7,486人)	6,442人
3	多目的広場	4,316人(5,322人)	4,995人
4	テニスコート	6,955人(8,853人)	7,917人

※（ ）内は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいR2～4年度を除いた直近過去3年間の数値

令和 6 年度スポーツ推進審議会の日程（案）

第 1 回審議会 6 月 4 日（火）

議 題

- (1) 第 3 次教育プランに基づく令和 5 年度のスポーツ関係施策の実施状況
- (2) 第 3 次教育プランに基づく令和 6 年度のスポーツ関係施策の実施予定

第 2 回審議会 11 月上旬

議 題

- (1) 令和 6 年度スポーツ施策の実施状況について（上半期実績）

第 3 回審議会 3 月下旬

議 題

- (1) 第 3 次総合教育プランに基づく令和 6 年度のスポーツ関係施策の実施状況（見込み）
- (2) 第 3 次総合教育プランに基づく令和 7 年度のスポーツ関係施策の実施予定

「これまで」と「これから」の

地域クラブ活動推進の概要

地域クラブ活動推進室の役割（体制イメージは別紙のとおり）

- * いわゆる部活動の地域移行に関する取組について 取組の中心的な役割を担い、窓口となって情報を集約し、広報を行います。
- * 取組の方針を定め、関係各課が行う業務を調整、管理します。
- * 地域クラブ活動推進委員会の事務局を担当します。

現状

Point

1 上越市立中学校では令和8年4月から、「休日」は部活動を行わない

- * 令和6年度の休日の部活動実施日数は 0～15日間
- * 令和7年度の休日の部活動実施日数は 0～10日間

Point

2 「平日」の部活動は検討中(未定)

中学生のスポーツ・文化芸術活動環境整備における具体的な取組（R5～）

- * 指導者の確保・育成(指導者謝金の支払い、資格取得の支援、講習会の開催) ※
- * 持続可能なチーム体制の整備(保険料相当額の支払い) ※
- * 地域でスポーツや文化芸術活動を行う団体の周知(地域クラブフェアの開催)
- * 地域でスポーツや文化芸術活動を行う団体等の現状把握 ※ R5はスポーツ活動のみ実施

今後の取組

上越市の「地域クラブ活動」の理念・要件の明確化

* 指針の策定

(参考)休日に活動を希望する生徒の活動環境イメージ

既存 スクール・教室、地域のクラブチーム

“新設” 「地域クラブ活動」 希望する生徒すべてが活動できる場
… 教育委員会が運営方針等に関与

活動環境整備のための個別具体的対応

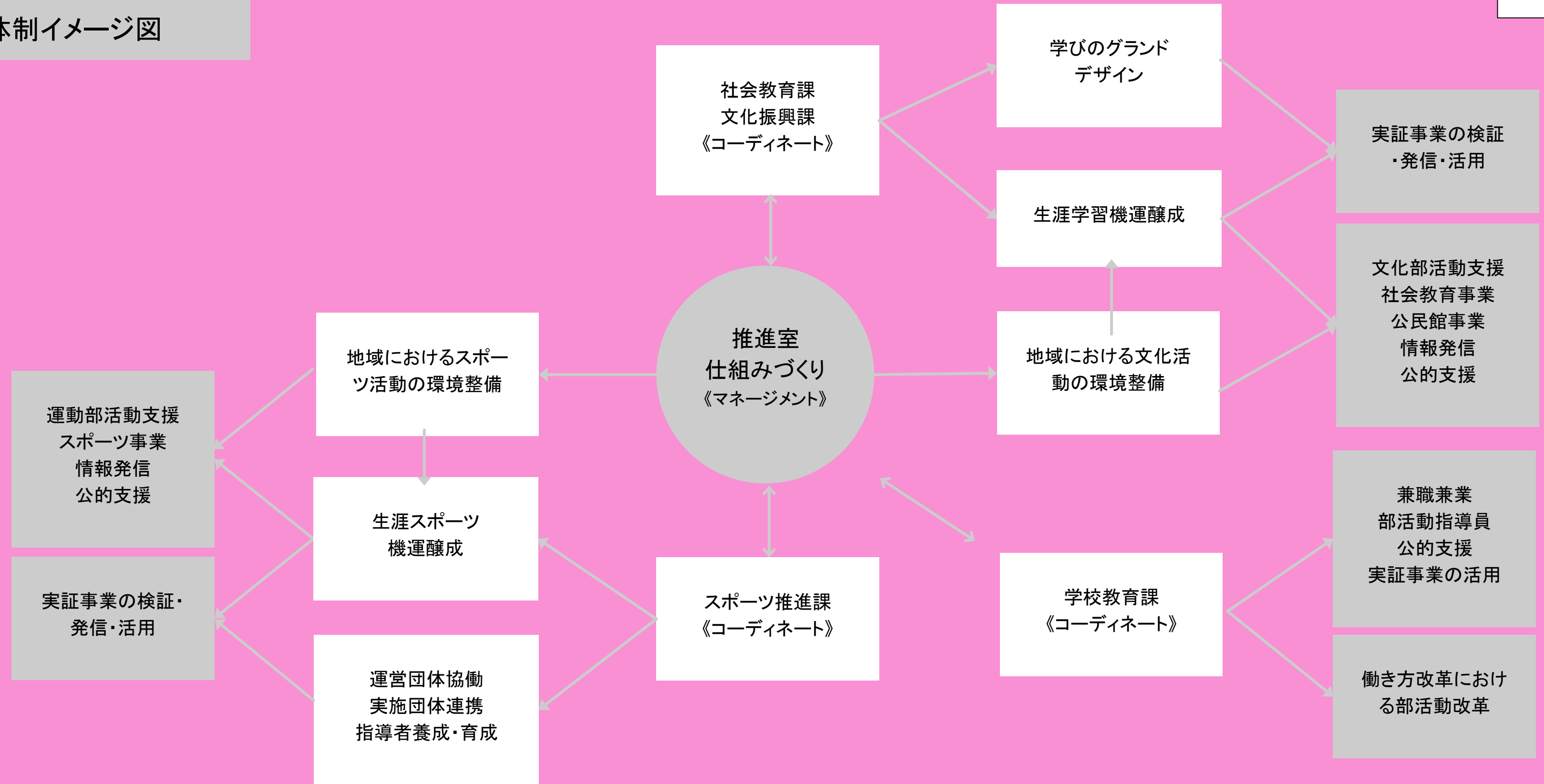
- * 地域により異なる状況を個別に把握(学校、関係団体等との意見交換)
- * 必要とされる地域クラブ活動実施主体の設立支援

諸課題の整理

- * 会費の負担、使用施設、送迎方法 など

休日に活動を希望する **中学生のニーズに沿った環境**の実現へ

体制イメージ図



推進室は、「運動部活動」「文化部活動」「地域クラブ活動」「団体・指導者養成・育成」「実証事業」等、地域クラブ活動推進に関する主幹窓口として情報収集に努め、情報の一元化を図り、行政機関や学校、団体、保護者等からの情報、相談、要望等の内容を精査し、関係各課へ業務依頼をしたり、協働した業務推進をしたり、情報提供したりしながら全体の仕組みづくりをマネージメントする部署(マネージャー)

「組織をして成果をあげさせるための道具、機能、機関がマネジメント」「マネージャーは、命令する権限ではなく、貢献する責任」P.Fドラッカー